

参考文献一覽

○書籍

- 陳伯君注『阮籍集校注』（中華書局、一九八七）
黃節『阮步兵咏懷詩注』（中華書局、二〇〇八）
古直箋『阮嗣宗詠懷詩箋定本』（層冰堂）
『六臣注文選』（中華書局、一九八七）
四部叢刊本『六臣注文選』（四部叢刊正編）
『文選』（李善單注本）（芸文印書館、一九八三）
（和刻本）長沢規矩也篇『文選』（六臣本）（汲古書院、一九七四）
足利學校秘籍叢刊『文選』（六家本）（足利學校遺跡圖書館後援會刊、一九七四）
無注本『文選』

- 『十三經注疏』整理本（北京大學出版社、二〇〇〇）
黃侃手批『說文解字』（上海古籍出版社、一九八七）
『史記』（中華書局、一九九七）
『漢書』（中華書局、一九九七）
『後漢書』（中華書局、一九九七）
『三國志』（中華書局、一九九七）
『晉書』（中華書局、一九九七）
『南史』（中華書局、一九九七）
許維通撰『呂氏春秋集釋』（新編諸子集成）（中華書局、二〇〇九）
陳鼓應注『莊子今注今叢』（中華書局、一九八三）
四部叢刊本『老子道德經』（商務印書館）
陳橋驛校証『水經注校証』（中華書局、二〇〇七）
『宋本芸文類聚』（上海古籍出版社、二〇一三）
『初學記』（中文出版社、一九七八）
王叔岷撰『列仙伝校撰』（中華書局、二〇〇七）
『世說新語』（上海古籍出版社、一九八二）
遼欽立輯校『先秦漢魏晉南北朝詩』（中華書局、一九八二）
嚴可均輯校『全上古三代秦漢三國六朝文』（中華書局、一九五八）
穆克宏点校『玉台新詠箋注』（中華書局、一九八五）
郭茂倩篇傳增湘藏宋本『樂府詩集』（人民文學出版社、二〇一〇）

- 『詩品集注』増訂本（上海古籍出版社、二〇一二）
『文心雕龍註』（商務印書館出版、一九六〇）
洪興祖撰、白化文点校『楚辭補注』（中華書局、一九八三）
黄節『魏武帝魏文帝詩註』（中華書局、二〇〇八）
黄節『曹子建詩註』（中華書局、二〇〇八）
俞紹初輯校『建安七子集』（中華書局、一九八九）
戴明揚校注『嵇康集校注』（人民文学出版社、一九六二）
龔斌校箋『陶淵明集校箋』（上海古籍出版社、一九九六）
丁福林、叢玲玲校注『鮑照集校注』（中華書局、二〇一二）
張富春『支遁集校注』（巴蜀書社、二〇一四）
陳慶元校箋『沈約州校箋』（浙江古籍出版社、一九九五）
俞紹初、張垂新校注『江淹集校注』（中州古籍出版社）
胡之驥註『江文通集彙註』（中華書局、二〇一四）
四部叢刊本『広弘明集』（商務印書館）
倪璠注、許逸民校点『庾子山集注』（中華書局、一九八〇）
方世举著、郝潤華・丁俊麗整理『韓昌黎詩集編年箋注』（中華書局、二〇一二）
謝思煒撰『白居易詩集校注』（中華書局、二〇〇六）
王琦注『李太白全集』（中華書局、一九七七）
朱東潤『梅堯臣集編年校注』（上海古籍出版社、一九八〇）
『陸游集』（中華書局、一九七六）
郭紹虞校积『滄浪詩話校积』（人民文学出版社、一九九八）
沙岑点校『歲寒堂詩話』（吳文治『宋詩話全篇』（江蘇古籍出版社、一九九八）所収）

○日本研究書

- 安藤信広『庾信と六朝文学』（創文社、二〇〇八年一二月）
伊藤漱平編『中国の古典文学―作品選読』（東京大学出版会、一九八一年）
大上正美『阮籍・嵇康の文学』（創文社、二〇〇〇年三月）
大上正美『六朝文学が要請する視座』（研文出版、二〇一二年三月）
大上正美『中国古典詩聚花・思索と詠懐』（小学館、一九八五）
興膳宏『乱世を生きる詩人たち』（研文出版、二〇〇一年）
興膳宏『新版 中国の文学理論』（中国文学理論研究集成一、清文堂出版、二〇〇八年）
興膳宏『中国文学理論の展開』（中国文学理論研究集成二、清文堂出版、二〇〇八年）
興膳宏『弘法大師空海全集』（筑摩書房、一九八六）

- 興膳宏『庾信―望郷詩人』(中国の詩人その詩と生涯四、集英社、一九八三年二月)
小南一郎『楚辞とその注釈者たち』(朋友書店(二〇〇三年七月))
鈴木修次『漢魏詩の研究』(大修館、一九六七年)
鈴木修次『中国古代文学論』(角川書店、一九七七年)
高木正一氏『鍾嶸詩品』(東海大学古典叢書、一九七七)
戸倉英美『詩人たちの時空―漢賦から唐詩へ―』(平凡社選書二二〇、一九八八年)
林田慎之助『中国中世文学評論史』(創文社、一九七九年)
馬場英雄『嵇康の思想』(明治書院、二〇〇八)
松本幸男『阮籍の生涯と詠懐詩』(木耳社、一九七七年)
矢島美都子『庾信研究』(明治書院、二〇〇〇年二月)
吉川幸次郎『阮籍「詠懐詩」について』(岩波文庫、一九九〇年版)
劉文英著・堀池信夫、菅本大二、井川義次訳『中国の時空論』(東方書店、一九九二)
渡邊義浩『「古典中国」における文学と儒教』(汲古書院、二〇一五)
和田英信『中国古典文学の思考形式』(研文出版、二〇一二年)

○中国研究書

- 曹旭・丁功誼『竹林七賢』(中華書局、二〇一〇)
馮友蘭『中国哲学簡史』(新世界出版社、二〇〇四年)
高晨陽『阮籍評伝』(南京大学出版社、一九九四年)
高華平『魏晋玄学人格美研究』(巴蜀書社、二〇〇〇年)
韓伝達『阮籍評伝』(北京大学出版社、一九九七年)
江建俊主編『竹林学の形成与域外流播』(里仁書局、二〇一〇)
景蜀慧『魏晋南北朝与政治』(中華書局、二〇〇七年)
李沢厚『美学三書』(天津社会科学院出版社、二〇〇三年)
劉躍進・范子燁編『六朝作家年譜輯要』(黑竜江教育出版社、一九九九)
羅宗強『魏晋南北朝文学思想詩』(中華書局、二〇〇六年版)
梅家玲『漢魏六朝文学新論―擬代と贈答篇』(北京大学出版社、二〇〇六年版)
錢志熙『唐前生命觀和文学生命主題』(東方出版社、一九九七年)
湯用彤『魏晋玄学論稿』(上海正規出版集团、二〇〇五年)
万繩楠『陳寅恪魏晋南北朝詩講演録』(貴州人民出版社、二〇〇七年)
汪征魯『魏晋南北朝選管体制研究』(福建人民出版社、一九九五年)
徐公持『魏晋文学史』(人民文学出版社、一九九九年)
徐公持『阮籍与嵇康』(上海古籍出版社、一九八六年)

葉嘉瑩『葉嘉瑩說阮籍詠懷詩』（中華書局、二〇〇七年）

葉嘉瑩『葉嘉瑩說初盛唐詩』（中華書局、二〇〇八年）

章培恒・安平秋等主編『阮籍詩文選訳』（鳳凰出版社、二〇一一）

○論文

阿部順子「阮籍の詩文テキストについて」『芸文研究』二〇〇七年、No.93)

大上正美「江淹の挫折―建安吳興の令左遷をめぐって」『東京工業高等専門学校研究報告書』一九七四、六)

川合康三「阮籍の飛翔」『中国文学報』一九七八年、通号二九)

塩見邦彦「庾信詩詩論」『岐阜経済大学論集』七(三)、一九七三年、一二月)

清水凱夫「庾信の文学」『立命館文学』三四八、三四九号、一九七四年一月)

鈴木修次「嵇康・阮籍から陶淵明へ」『中国文学報』一九六三年、通号18)

錢志熙、大村和人訳「講演 阮籍「詠懷詩」論」『六朝学術学会報』二〇〇八年、九)

高木重俊「庾信の「郷関」の思について」『人文論究』第三十四号、一九七四年三月)

中田浩一「負薪―阮籍の心的態度」『集刊東洋学』一九七四年、三二)

中田浩一「阮籍の政治的関心について―詩のイメージャリーを通して」『集刊東洋学』一九七五年、三四)

網裕次「庾信について」(「お茶の水女子大学人文科学紀要」一九六三年、一六)

道家春代「曹操「遊仙詩」解釈試論」『名古屋大学中国語学文学論集』二〇〇四年、一六)

中野将「江淹「效阮公詩」について―その時代と文章制作の姿勢」『漢文学会会報』一九八七、四五)

中野将「曹植詩考―「悲風」を手掛かりとして」『漢文学会会報』一九九二年、五〇)

中野将「曹植「遊仙詩」考―その「詠懷性」について」『漢文学会会報』一九九四年、五二)

沼口勝「庾信その晩年の文学」『函館大学論究』一九七〇年、六)

功力夕里子「詠懷詩」にみえる阮籍の「憂」について」『漢文学会会報』三七)

林宏作氏「阮籍の詠懷詩に現われた神仙思想」『阪南論集』一九七九年、一四)

福永光司「阮籍における懼れと慰め―阮籍の生活と思想」『東方学報』一九五八年、二八)

藤井良雄「昭明『文選』における「詠懷」の成立について」『福岡教育大学紀要』一九九三年、四二)

牧角悦子「建安文学に見る詩の変容―文学の不朽と詩の無名性―」『狩野直禎先生傘寿記念三國志論集』

二〇〇八年)

松田稔「阮籍「詠懷詩」八十二首における求仙の位置」『国学院女子短期大学紀要』一九八五年、三)

森田浩一「徘徊と逍遙―阮籍「詠懷詩」の一考察」『中国文学報』一九九〇年、四一)

山田英雄「阮籍の輶晦について」(『名古屋大学文学部研究論集』一九七〇年、四九)

山田英雄「庾信「擬詠懷詩」考―阮籍「詠懷詩」との相違をめぐって」(『入矢教授小川教授退休記念中

国文学語学論集』所収、筑摩書房、一九七四年)

矢島美都子「北還後の庾信に見られる恥の意識について」(桜美林大学『中国文学論叢』一九七九年、七)
吉川幸次郎氏は「推移の悲哀―古詩十九首の主題―」上中下(『中国文学報』一九五九年、一九六〇年、
一九六一年、一〇、一二、一四)
李沢厚、河内利治訳「魏晋の風度―文の自覚・阮籍と陶潜」(『国士館大学漢学紀要』、二〇〇三年、六)